

踏み跡 <My Mountains>

八ヶ岳	甲斐小泉から権現岳・編笠山	No.162
-----	---------------	--------

八ヶ岳の歩き残した尾根はだいぶ数少なくなってきた。甲斐小泉から三ツ頭に突きあげる稜線を登って、権現・編笠さらに可能ならば西岳もというプランを立てた。

長い長いスロープを描く八ヶ岳の南面は下山路としてのイメージしかなかったが、入山路として使ってみることにした。我慢強く歩ききることができるか不安はあるが……。

雪中ツェルト泊で、しかも荷を軽くするため寝袋は半身用のセミシュラフ。

出発前の計量ではザックは20Kg だった。

昭和45年12月28日

<出発→甲斐小泉→早乙女河原展望台>

国立は快晴。高尾6時27分発に乗り、甲府でアルプス一号に乗り換え。甲府盆地は文句なしの快晴で前途有望な気分。

小淵沢9時36分着、小海線は9時47分発。

美しい景色に見とれる暇もなく甲斐小泉に到着10時。富士山と南アルプスがよく見えて気持ちの良い朝景色。甲斐小泉駅は海拔1050m ぐらいの高さだろうか。

権現岳は2700mを越える高さなので……、計算すれば憂鬱になる。ひたすら登り続けることになる。

駅で水を(10)もらって、10時20分に出発。蛙石で八ヶ岳横断道路を横切ると海拔1300mになる。

早乙女河原展望台14時、ここは海拔1830m 地点。積雪は予想より少なく、三ツ頭あたりまで行かないと十分な雪にはありつけないようだ。編笠山の雪もさほど多くはなさそうだ。飲料水のことを考えると積雪量は大きな問題である。短期決戦が望ましいような気がする。

早乙女河原展望台の一隅の比較的雪が多い所を選んで、今宵の宿と確定。

ツェルトを張るとすぐに雪をコッヘルに入れて水作り。ガソリンコンロの音を聴きながらおやつチョコレートドリンク。

16時、夕食はおじや。食後にすぐ朝食用の野菜類の準備を済ませて、17時半にシュラフに入る。

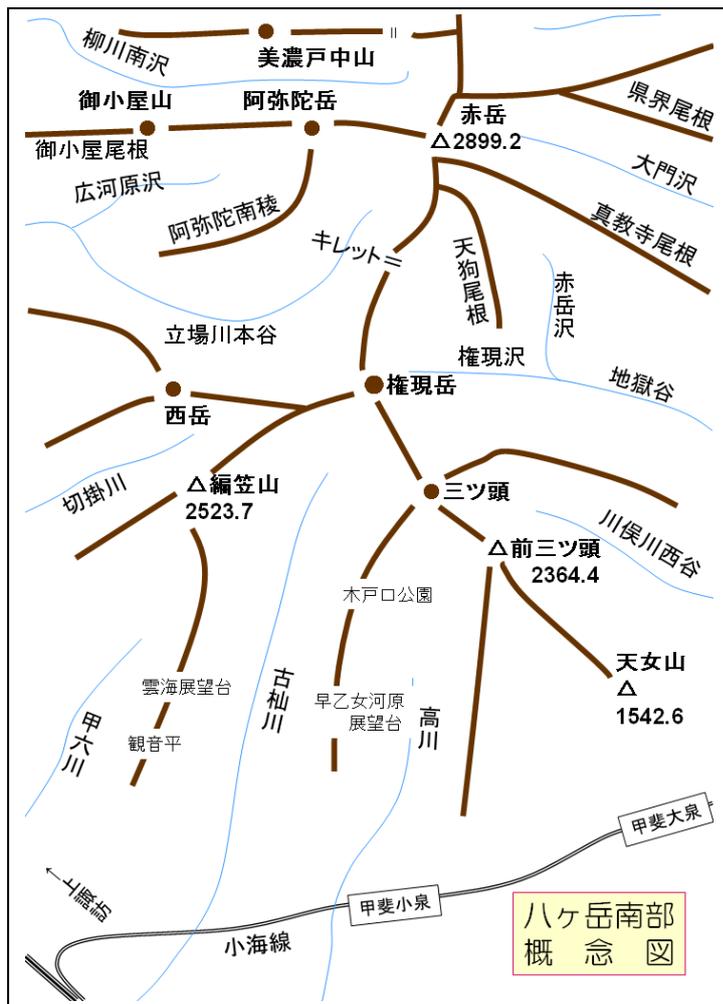
初日の気楽さからか手帳にこんなものをメモしてみた。

星満天輝々
梢風有少々
寒気迫深々
独座冬山中

昭和45年12月29日 <早乙女河原展望台→木戸口公園→三ツ頭→早乙女河原展望台>

起床4時、風あり、上空のみではあるが強い風が吹いている。薄い雲の膜があり星が見えなくなっている。6時35分に出発。ゆっくり、ゆっくり高度を上げて行く。

木戸口公園(海拔2200m)7時30分、5分間の小休止。「三ツ頭へあと一時間」という標識があるが、うそくさい。ガイドブックのコースタイムの説明では「1時間40分」となっている。



踏み跡 <My Mountains>

海拔 2300m 地点あたりから雪が多くなり、足を取られて歩きにくくなってきた。

三ツ頭 10 時 45 分。強い風、雪、しかも雲の中で何も見えやしない。今日の権現岳行きはあきらめるべきか。権現岳への稜線の積雪は 30cm~60cm ぐらいだろうか。晴天を狙って、早朝出発で一気に越えてしまうのが良さそうな気がする。

今日はこれにて終了として、早乙女河原展望台へ戻ることにする。

木戸口公園 12 時 30 分。上の方は曇っているが下はもう晴れている。もしかすると明日は Good condition かもしれない。

テントサイト（早乙女河原展望台）帰着 13 時。完全に晴れてきた。

夕食 15 時 30 分、17 時 30 分シュラフイン。星が出ているがあまり寒くはないのが気になる。

明朝目が覚めた時に天気が良いければ、「ラッシュアタック」という作戦にする。期待を込めて瞑目。

昭和 45 年 12 月 30 日 <早乙女河原展望台→三ツ頭→権現岳→編笠山→雲海展望台>

4 時 15 分起床。星がいっぱい広がる快晴だ。再度のアタック決定！！

5 時 50 分ヘッドランプを着けて出発。食糧が減ったので大分荷物が軽くなった。足取りも軽く、ワンピッチ 60 分のペースを念頭に置いて歩く。

木戸口公園 6 時 30 分、昨日の 2 / 3 の時間で到達。

三ツ頭 8 時 10 分。昨日のトレイルのおかげでだいぶ早く着くことができた。今日は抜群の天気に加えて足の運びもなかなか良い。しかも眺めも最高で文句の言いようがない。

(右上：三ツ頭から阿弥陀・権現・赤岳)

(右中：権現岳までもうひといき)

権現岳直下の鎖場は、鎖が雪に隠れていて難航。一部コースを離れて岩登りで凌いで権現岳頂上に 9 時 50 分到着。抜群の晴天に良好な雪質さらに体調の良さも手伝って、ここまでは順調に來られた。

軽食と中休止をとり 10 時 25 分出発。

青年小屋 11 時 45 分、つららで水分を補給した後昼食。

ここから西岳往復を考えていたが、雪の量が多いので、ラッセルによる負荷の大きさを考えて中止しゆったり休む。編笠山 13 時 10 分。赤岳、阿弥陀、硫黄、横岳、権現などの八ヶ岳の主峰の眺めとはここでお別れ。(右下)

南アルプスを目の前に置いての下り。雪面が光り輝く北岳をじっと見つめながら……。

雲海展望台（海拔 1750m 地点）15 時。その名のとおり景色は良いし雪も適量あるし、ちょうど良い時刻なのでここを今日のテントサイトと決定。

15 時半から炊事開始。今夜のメニューは一足早く雑煮。ダイコン、ニンジン、ナス、ハクサイ、ネギ、シイタケに、もちろん豚肉も入り、味噌味。

16 時半、食後のデザートに夕暮れの景色でも楽しもうかと思ったら、残念ながら眺望は得られなくなってしまった。

18 時シュラフイン。うとうとしているうちにツェルトを叩く雪の音、時計を見たら 21 時。



昭和 45 年 12 月 31 日 <雲海展望台→棒道→小沢>

起床 6 時、ひさしぶりにゆっくり寝てしまった。今日は大晦日、あとは下山するだけ。

昨晚からの雪はもう 15cm ほど積もっている。朝食は残りの食料からダイコンの味噌汁だけ。

出発 7 時 15 分。積雪は 10cm~30cm 程度か。水分の多い雪で靴下が濡れやすい。

踏 み 跡 <My Mountains>

棒道（海拔 1130m）8 時 45 分。お馴染みの小海線の線路を渡ってもう一息。

小淵沢駅 9 時 40 分着。駅前で朝食を食べて下り列車を待つ。

小淵沢発 10 時 59 分長野行に乗車。そう、まだ家には帰らない。

茅野 13 時 30 分着、バスで杖突峠に上がりそこから徒歩。山はここまでで終わりとして、千代田湖のほとりの千代田荘でのんびり正月を過ごしてから帰京した。

以上